

市場使用料あり方検討委員会について

設置目的

市場使用料のあり方について、学識経験者及び業界代表者で構成する検討委員会を設置し、専門的な調査、検討を行う。

主な検討事項

現行市場使用料の課題整理

市場使用料体系の見直しの必要性

今後の市場使用料のあり方

委員の構成

委員長：横山 彰（中央大学 総合政策学部 教授）

学識経験者（4名）

大学教授（経済分野、卸売市場制度分野、消費者行動分析）、
公認会計士

業界代表者（15名）

卸売業者団体代表、仲卸業者団体代表、関連事業者団体代表、
売買参加者団体代表 など

委員 20名

これまでの開催状況

本委員会（2回開催）

第1回：平成21年7月21日 市場の概要及び財政の状況

第2回：平成21年11月27日 現行市場使用料に係る課題整理

ワーキンググループ（5回開催）

委員会の下部組織として学識経験者の委員で構成するワーキンググループを設置。下記のとおり、市場視察や市場視察を踏まえた意見交換等を実施している。

第1回：平成22年2月2日 市場視察・意見交換（築地市場）

第2回：平成22年3月23日 市場視察・意見交換（食肉市場）

第3回：平成22年4月13日 市場視察（大田市場）

第4回：平成22年4月20日 市場視察（世田谷市場・淀橋市場）

第5回：平成22年5月7日 市場視察に関する意見交換

市場の現状と使用料に関する過去の検討課題

検討期間及び今後のスケジュール

検討期間

おおむね2年間

今後のスケジュール

ワーキンググループにおける専門的な調査、検討を踏まえ、委員会において中間のまとめを行い、平成23年7月を目途に最終のとりまとめを行う。